

SSKO

東腎協

東京都腎臓病患者連絡協議会（東腎協）

事務局・〒161東京都

電話

送金先・郵便振替口座

加入者名・東腎協

84年1月25日

No. 49

15年前の透析事情

たまたま透析施設や先生とのつながりがあったなどという、その人のもっていた運と、生き抜くぞという気力が、当時明暗を分けたわけです。そういうことではいけないんだというわけで、全腎協が生まれたということを知ってもらいたい。

（上田昭「全腎協」系68「透析15年座談会」より）



え・大森輝秋

昭和五十一年二月二十五日第三種郵便物認可
SSKO通巻第九〇九号（毎週二、四、六日発行）
昭和五十九年一月十六日発行

曜日・金曜日発行

健保改悪阻止の旗を高くかかげ

全腎協と共に反対運動を推進

医療保険改悪に反対する東腎協は、昨年から活発に反対運動を進める全腎協などと共に、この間の運動に大きく貢献してきました。

十月二十二日、全腎協は厚生省に対して交渉。この中で、①



厚生省での座り込み(10月24日)

被用者保険の給付率の引き下げはしないこと②入院時給食費の六百円患者負担導入は実施しないこと、などの要求をはじめ透析医療の問題も取り上げて交渉しました。(東腎協十一人参加)

十月二十四日、全国患者・家族団体連絡会の厚生省交渉には、東腎協から三十人参加しました。また、十一月三日には、同連絡会の健保法改悪反対の街頭署名が銀座で行われ、泉山、石川勇、柳の役員が参加しましたが、まだ全体に市民の関心も弱い、というのが実情です。

十二月二十四日、健保改悪に反対する全国決起集会(12・24クリスマス患者集会)・全国患者・家族団体連絡会主催)が東京・八重洲の国労会館で開か

れ、改悪案撤回をめざしてさらに国民的な運動を進めることを決めました。

この中で、患者代表の一人として東腎協常任幹事の木村妙子さんも決意表明しました。

「一生透析を続けなければ私たちは生きていけません。医療費は月五十万円もかかります。治療上生の野菜も食べられず、ビタミン剤で補っています。いまは保険給付がありますが、健保が改悪されたら負担はたいへんです。金の切れ目が生命の切れ目になります。こんな冷たい政治には絶対反対です」と訴えました。

東腎協では、これらの運動のほかに各患者会・腎友会の總會や学習会の席に宝生会長が出席し、現在の状況や反対運動について訴えました。また、都議会陳情もすすめています。全腎協、患者・家族団体連絡会の署名も力を入れています。

△おもな記事▽



全腎協と共に

反対運動を推進……………(2)

会員交流会を開く……………(3)

座談会

区役所に就職して……………(4)

たえこのひとりごと

△4▽……………(2)

腎臓病医療相談会開く……………(3)

仲間からのたより……………(4)

事務局からのお知らせ……………(20)

健保改悪、社会復帰に高い関心

会員交流会を開く

東腎協会員交流会を十一月六日、小金井市民館において開催しました。今回は、三多摩地区の会員が参加できるように企画しましたが、あいにくの雨天で参加者は二十五人でした。

交流会は、各会員が抱える具体的問題を出してもらいましたが、半数の人から現在の医療制度改悪の内容について知りたいと要望が出されました。その後、災害対策、社会復帰、足の痛み、低ヘマト、病院患者会活動などについて話し合いました。

その中で、会員のAさんの社会復帰問題についてこんな話し合いがされました。

— Aさん(男、三十歳代)は、透析に入り昭和五十三年からK銀行で嘱託として勤務。しかし、最近一年間は体調を崩して休職中です。現在、元氣になりましたが復職できません。

A 私の問題ですが、最近、銀行から「今から一年間与えるから自分で独立す

ることを考えろ」といわれたのです。体調は一時、ヘマトが落ちて休んだのですが、その後元氣になり診断書を添えて出したのですが……。

B (男、求職中) 労働基準監督署か職安の障害者担当などで相談して測定してもらったら。

A 現在、欠勤扱いになって一年、受け入れる体制はないといっているのです。私自身は、ここまで追い込まれると復帰した場合、うまく仕事をやっていけないのではないかと思うのです。仕事はあるが、女性がする仕事でして……。

B 失礼ですけど、今、ほかの職場を捜そうと思っても雇ってくれる所はないですよ。障害者に対する相談窓口は、各職安にあります。実際問題として雇う人にとって週三回休むとか、三時に早退するとか、残業ができないとか、今、人が余っている時代に雇う所はないですよ。そんな甘い考えでは、ほかの職にはつじ

ないです。

C (男、六十九歳) 障害年金で食べていければいいけれど……。女の人は、旦那さんがしっかりしていれば年金で食べていけるけれど、男の人は食べていけないので、ずうずうしくつかまるしかないと思います。

A お前は出てこなくていいといわれると……。

D (女、三十歳代、公務員) 私の場合、公務員でしたがAさんと同じでした。(休職して)一年たって、出たいといっても体が大事だから出なくてもいいというのです。そこで一カ月に一度ぐらい、手土産をもって「これだけ元氣だ」と行き、次に主治医に会ってくれたのです。

また、大学の教授を呼んで「この人は、こういう状態でこうだから、社会復帰させることが一番良いことだ」と説得してもらって、やっと出られるようになったのです。行ったら絶対に休まなかったのです……。

次々と何人もの人が意見を出し合いましたが、きびしい状況をあらためて認識しました。

(報告・高橋)

座談会

区役所に就職して

別枠採用試験に合格して



え・中園三十日

△ 出席者 ▽

山田 元志

田中 公生

小峰奈美枝

関 純也

伊藤紀美子

松本 英樹

泉山 知威 (司会)

昭和五十七年(一九八二年)から始まった特別区職員の別枠採用で、透析患者が六人採用になりました。東腎協では、今後多くの人たちが採用されるようになれば、とこの座談会を計画しました。幸い全員出席していただき、うちとけた雰囲気の中で話がはずみました。

(83年8月14日、全腎協事務所で)

司会 お忙しいところ、別枠採用で区役所に就職された皆さんに集まっていたき、ありがとうございます。

きょうは、テーマが「区役所に就職して」ということで、どういう試験だったとか、勤めてからどうだったかなどをうかがって、これから受験する方の参考になりたいと思います。

敵しい一般試験では年齢制限がありますので、皆さんは平均年齢が高いということですが、そういう意味では別枠採用ということはいいことだと思います。

区役所に就職する前

司会 山田さんは、区役所に就職する

前は どうして いた の だ っ か 。

山田 アルバイト を し て い ま し た 。

司会 や は り、 な か な か 就 職 と い う の は む ず か し い で す か。 田 中 さ ん は 。

田中 高 専 出 た ん で す よ ね。 コ ン ビ ュ ー ター の ソ フ ト を や っ て い た ん で す が、 サ ラ リー マ ン が あ わ な い の で、 や め ま し て 日 本 中 放 浪 し て 。

司会 そ れ で は、 病 気 で や め た わ け で は な か っ た ん で す ね。

田中 ぼ く の 場 合、 ネ フ ロ ー ゼ が 四 つ の 時 か ら あ っ た ん で す が、 旅 を し て、 そ の 間 に 悪 く し た ん で す ね。 旅 行 し な が ら



山田元志さん(大橋クリニック)

29歳。渋谷区区民部受付相談課相談係。

趣味はオートバイ。透折9年

バイトして、自分でペンションやりたかったんで、そういう研究しながら三〜四年やっていました。

最後に松本がハードワークだったので、まずいかなと思って家に帰りまして、病院行きましたらネフローゼを通り越して腎不全になっちゃって。診断下されたのが一昨年で、それから落ちる一方で。

司会 でも、一年にしては無気ですね。

田中 そうらしいですね。みんな透折するとぐったりして帰ってくるんだけど、ぼくは飛びはねて帰ってきました。

司会 伊藤さんはいかがですか。

伊藤 大学の時に透折を始めたので、就職できなかったんです。自宅でピアノを四年ほど教えていました。

司会 就職しようという気持、会社勤めは考えていなかったわけですか。

伊藤 考えてはいたんですが、その当時は体の具合が悪くて、就職運動できなかったんです。

司会 関さんは。

関 大学入って一年目に急に悪くなって、アルバイトやっていたんですが駄目になって、大学の三年目にレポートを出

す時期に(透折のためでなく)お腹をこわして熱が出て留年してしまったのです。その時、国会図書館で午後だけですが、アルバイトしていました。

就職活動もしたんですが、透折が原因で勤められないんじゃないかと、全く関係ないというわけではないんですが、なかなか自分に迷いたくないものがあったんじゃないかと思えます。

もともとサラリーマンになろうとは思ってはいなかったですからね。国会図書館にはいろいろな人がきますから。

偶然、こういう試験があるということが広報に載っていて、一度目はみごとに落ちましたけどね。

司会 それは一年目は落ちたのですか。また一次試験ということですか。

関 一次は受かったんですが、二次で東京都の方受けたのです。私は別枠採用だから、たっぷり透折行けるようになるのかと思っていたら、そうでなくて落ち

た時、腹立ちましたよ。一年間、コンチクショウと思っただけでしたよ。

司会 今年(八三年)の東京都に対する予算要請の際も総務局人事部に對して、

小峰奈美枝さん（東池袋内科医院）

21歳。板橋区総務部職員課研修係。趣味は洋裁。透析5年半。



こういう問題を出したのですが、東京都は規定時間は働かなくちゃいけないという考えを持っているんですよ。

その点、区も同じなんですが、少しは検討してもらえる感じがするんですよ。

田中 面接の時、それはずいぶんいわれましたね。絶対、時間まで大丈夫ですか。病院午後五時までに入らなくて、一応三十分のばしてもらって四時半、四時間半、六時間と透析をやることにして五時まで勤務できると思っています。

司会 まあ、ハンディといってもいい

いろいろあると思うんですね。たとえば、足とかぼくたちの場合、身体的には問題ないわけですけど、時間的制約が大きいわけですね。都の人事部の人は紋切り型の回答で、規則がそうなってますからということでした。

関 面接の時には自信をもってあたった方がいいですね。

司会 実際に配属されれば、配慮してもらえる場合もあると思います。一時間単位に休暇もとれますから。話がずれてきましたが、松本さんはどうですか。区役所に勤めるまで。

松本 大学の時に悪くなって一年間留年して、今年やっと卒業できて、一応就職活動しまして、民間も三、四行ったんですが、遠回しにはっきり断わられました。

司会 移植後三年ですね。ハンディもないといえますがね。

松本 やはり健康でないと駄目ということで、区役所の方の別枠採用があるというのを見まして受けたのです。

58年度特別区職員採用選考実施要綱

一、程度・職種・採用予定数

高校卒程度・事務・約60名

二、受験資格

- (1) 身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳の交付を受けている者
- (2) 選考申込時採用時において引き続き特別区の区域内に住所を有する者
- (3) 学歴を問わず、昭和31年4月2日から41年4月1日までに生まれた者
- (4) 自力により通勤ができ、かつ介護者なしに職務の遂行が可能なる者
- (5) 通常の勤務時間に対応できる者
- (6) 活字印刷文に対応できる者

三、選考方法

- (1) 第一次選考（教養試験：一般教養について、五枝択一式により2時間行う。作文：課題式により1時間30分行う）
- (2) 第二次選考（第一次選考合格者（採用予定数の2倍程度）を対象に面接、身体検査を行う）

※58年度は第一次選考を11月6日、第二次選考は12月上旬に実施。発表は59年1月中旬。

積極的に取組む姿勢

司会 皆さんアルバイトをしたり、積極的です。試験にしろ、なんにしろやはり積極的に自分からやらなければ駄目だということですね。

田中 テクニシャンの人なんかにいわせると、そういうことが絶対必要だということ。透析患者は何やっても駄目だみたいな感じになる人が多いから。

司会 小峰さんの場合は、ストレートで入りましたから普通の人と変わらないで



田中公生さん（新宿石川病院）

28歳。練馬区區民部區民課區民第一係。

趣味はオートバイ、野球。透析一年。

すね。

小峰 その点、すごくラッキーでしたね。短大を卒業してすぐ就職できましたから。

司会 昭和五十七年度が一年目ですかね。山田さんなんか年齢がぎりぎりだったのでしょうか。

山田 一回しかチャンスがなかったわけです。

田中 ぼくもそうでした。これはやるしかないなと思って。たまたま、池袋の職安行ったんですね。そうしたら身体障害者の求人はずっと新宿でやっていたからというところで行ったら、何件かあったんですけど、担当の人の話だと「ふつうの人と違って透析患者は、健康保険の費用がずいぶんかかるから、一般企業は委託採用になるかもしれない」というんですね。でも委託採用だといっ首になるかわからないということですね。

それで別枠採用を知ったのは二十七歳でしたが、駄目だろうけど受けるだけというところで受けたのです。

別枠試験の内容

司会 ぼくも昔、一般の試験を受けたのですが、最近の試験内容わからないんです。知り合いの方で受けたようとした方がいたので、参考書探してみたいんですが、一般の初級公務員試験の問題集はあるんですが、区とか都のはないので、皆さんからお話を聞ければ参考になるのじゃないかと思えます。

関 一番最初に国語の問題があります。文章の組立てのようなものです。あとは数学みたいなものです。点を転がしたらどのような図形を描くかということ……。

田中 判断力のテストみたいなもので、適性検査的なものです。

司会 いわゆる字力のテストというものではないのですね。

伊藤 あと、表とかグラフを読むという問題もありました。

関 理科の問題も少し、大体中学三年程度のもんです。

山田 文章系統と数的なものが多いですね。

関 純也さん(大和病院)

25歳。板橋区総務部総務課清水出張所。
趣味は車、オートバイ。透析5年半。



関 ぼくなんか、数的な問題集を買ってやっていましたよ。とにかく腹わた煮えくり返るくらいやっていました。一般教養と一応出ていますが、名ばかりで数字とグラフの問題ばかりです。

田中 ぼくも何が出るかわからなくて初級の公務員試験集買ったのです。高専出たのが二十一歳の時ですから、去年二十七歳で六年間のブランクがあった。もし英語が出たらどうしようと思ってきましたが、英語はなくてホッとしました。

司会 関さんが勉強されたということですが、他にされた方いますか。

全員 やりました。

司会 ああ、そうですね。

山田 特別区の高卒程度の問題集というか、たまたま書店で見たのが別冊で後にちょっとついていたので、東京都のとあまり変らないと思いました。

司会 学校の勉強とはちょっと違うということですね。

山田 テクニクだと思っんです。出る問題、傾向決まっているからやり方さえ覚えちゃえば一次試験はね。

司会 四十間で二時間ですね。なにしろあの問題はパッパッとやっついていかないといけないですね。

伊藤 一次より二次の方が大変だと思います。

司会 二次は面接でしょう。

伊藤 面接は長いですし(二十分)、いい面接官に当たるといいですが。

田中 三人で矢張り早に質問がありますから。

関 一次で多く取って、二次でぐっとしぼって半分ぐらい落すようです。

司会 面接の時、どういうこと聞かれるのですか。

山田 自分のことから始まって家族のこととか、思想的なこと聞かれました。

伊藤 自分の性格をどう思いますとかか友だちから見えてあなたは何のように思われていますかとか、そういうことに明快に答えられないと駄目ですね。自信満満じゃないと。

一度目はそれで失敗したんです。

関 お前は、お前よりすごいんだよとこれくらいじゃないと。(笑い)

田中 練馬に住んでるから練馬の人口とか。(笑い)

司会 なんでもそうですね、はっきり自信を持って対応していかなければいけないということでしょう。

山田 やっぱり、一番見られるのは本当にこの人がやっついていけるかどうか、ということですね。意欲ですね。

司会 ハンディ持っているだけに意欲というものが大事になってくるんですね。

山田 どういう仕事を希望するかということも聞かれますね。

司会 午後五時以降にほとんど影響なく通院している方は小峠さんですね。

伊藤 私も学校は昼休みがないので、多少早く帰れますから。
司会 その時間の点では、皆さん御苦勞されていますね。

二十三区で身障者特別枠でなくて一般の大卒福祉指導Aで昨年度受かっている方がいるのですが、いまだに就職が決まっていないのです。十五人中四番目で試験通っているのですが、七人採用になって七人辞退して、その方だけ採用にならないですね。

ぼくたちもいろいろ運動しているんですけど、別枠ができる前は都の方は競争



伊藤紀美子さん（大山中中央クリニック）
27歳。板橋区大山小学校。趣味はピアノ、音楽鑑賞。透析6年。

試験ですから一般試験を受けて下さい、って答えていたんですよね。でも試験受かってても区の方で採用にならないというのですね。

就職してからの変化

さて、就職されてからの変化ということとはありますか。いつも落ち込んでいたのが元気になったとか、体調がよくなったとか。ぼくは働いていないと体調もよくないと思うんですね。だいたい、働かないでブラブラしている方は、あまり体調がよくないですね。

山田 アルバイトやっている時は、何か定職を持たなければ、という気持がありましたので、精神的に安定しました。体調も規則正しくなったので、最初の一カ月はきつかったですけど、今は慣れました。

伊藤 最初の頃、ほんとに具合悪くて、電信柱まで止まらないで歩こうとか、そういう感じで歩いていました。それでも学校行っていましたが、かなり根性があつたと自分でも思うんですね。

就職して規則正しいし、就職する前、小峰さんに電話したら、「すぐく業だ」って。そして、お休みになると身体具合悪くなるのよというから、ホントかなと思っていましたけど、ホントにそうなんですよね。

関 あまり、そうじゃないですね。透析に入った頃は、ヘマト三三、三四ありましたから夜間透析に入ったら下がりました。

でも、バイトの頃は、朝十時頃まで寝ていましたから、朝きちんと起きる方がよいようです。

松本 学生の時は、ちょっと寝坊すると、ああいやと思ってしまいうけど、今はちゃんと行かないといけないからいいみたいです。

司会 たしかにぼくなんか、きつくても時間までに出動しますからね。今、この数年遅れたことはないですね。出てからきついことありますけどね。なにしろ根性が必要ですね。一度休むと際限がないですからね。

仕事の内容はいかがでしょう。山田さんは相談係ですね。

松本英樹さん（東京女子医科大学）

24歳。大田区雪ヶ谷特別出張所戸籍係。趣味は釣。3年前に父親の腎臓を移植。



山田 おいしい場所はないかとか（笑い）、電話でのインフォメーション、職員に答えられないことは専門家に来てもあります。

梅雨の時は、苦情がくるんですね。うちの係は権限持っていないので、適切な所管を紹介するという形をとっています。入った当時、電話をとるのが恐怖で、今は大丈夫ですけど。

司会 区役所というのは、何から何までこの相談係というのは窓口ですからね。関さんも出張所ですから、第一線ですな。

関 なんでもあるんです。街灯の球切れから害虫の駆除、ゴキブリの薬の配布など全部やるので、最初びっくりしました。出張所はきついですから、採用されたら希望しない方がいいですよ（笑い）。伊藤 区によっても仕事の範囲って違うと思いますけど。

司会 松本さんも出張所ですけど、戸籍係ということでしたね。

松本 でもやはり、猫が公園で死んでいるから取りに来ていわれても、うちの方ではできませんけど…。

司会 出張所というのは、住民に密着した仕事ですね。慣ればそんなにむずかしい仕事ではないでしょう。

関 慣れば大丈夫ですが、順番に仕事はきませんから覚えるまでが大変ですね。

司会 田中さんは、区民第一係ということですが。

田中 住民基本台帳と印鑑登録と転入・転出、あと犬の登録、妊産婦の母子手帳、郵送関係と統計。

司会 国保とか年金なんかも来るんですけど本庁内でしょう。だから本職の方へ。透析

患者はぼくが初めてらしくて、立ったり座ったりが大変じゃないかということ、事務の方で統計の仕事と住民票の郵送関係しかやらなかったですから。

司会 小峰さんは、職員課研修係ということですけど、仕事は専門的になるわけですね。

小峰 楽しいですね。自分の手で研修を行って、それがそのまま返ってきますから。研修の計画立てて、実施して研修終了、アンケートを取って、それを読んでいる時の手ごたえというのが、すごくうれしいですね。

司会 この間も、保母さんの宿泊研修があった、私は行かなかったわけですが、行くまでの用意をしていて、アンケートを読んでみると、研修係の人にお礼いいますなんて書いてあるとすごくうれしいです。その点、また面白い仕事だと思っています。

司会 伊藤さんは、学校事務ということですが。

伊藤 職員の給料、出張の旅費請求、就学援助とかですが、生徒から先生っていわゆるので、運動会とかは一緒に役に

つきますし、学校の中を歩きまわったりしています。

司会 松本さんは、移植していますから普通の人と変らないでしょうが、採用する側は、透折患者をあまり知らないでしょうからどう接したらいいか、戸惑いがあったのだろうと思います。が、実際働いてみれば普通の人と同じように働けるということを理解してもらえれば、次から働く透折患者も理解されるでしょう。

ぼくたちが、東京都と話合っているのでは、透折になったため途中で仕事をやめざるを得なかった人たちもいることです。ですから、年齢制限をあげてほしいと要望を出しているんです。都は、入ってからは一般の人と同じように扱う、例えば昇進とか、だから人事管理上、一定の年齢制限が必要なんだといっています。

山田 東京都は、なんで採用しないんですか。

司会 人事委員会の方には直接行ったことはないんですけどね。もっぱら都の総務局の人事部の方が多いのですが、勤務時間は働けるかといっていますので、そのへんがネックなのか。区で六人も採

用になつてゐるのに、都がゼロというのはどういふことかと思つてはゐるんです。休暇の利用等方法はあると思うのですが、都の場合は、都外に住んでいる人も受けられるんですよ。一般採用人数自体も少ないですし。

ただし、身障者の別枠として十五人くらいとるといふことは決まつてゐるわけですが、内部障害者では心臓の方が一人だけで、腎機能と肺機能は一人もいないのですよ。伊藤さんは一回目は区ですか、関さんは都ですね。

関 最初、区の方で募集あるというのを知らなかったのです。出したらあとで、区の方があると知つて惜しいことしたなと思つたのですが……

司会 都の場合、転勤が必ずあります。二十三区に住んでいる方は、区の方をすめた方がいいですね。

これから受験する人へ

司会 では、最後にこれから受ける方に参考になることがあつたらうぞ。

田中 精神力というか、考え方という

か、ぼくは透折になつた時、なぜこんなことしてまで生きなくちゃいけないんだとずいぶん悩みました。でも、やらなくちゃいけないこと、やりたいことがあつたから透折受けたし、仕事もしなくちゃいけないということで別枠があつたから。昔は、公務員になりたくなかつたですが、仕事をして何か目標を持つてやればいいんじゃないですか。

司会 まず精神力ということですね。それは、皆さん共通していることかな。なにしろ働こうという意欲がなければ、どうにもならないわけですからね。

関 あと、何かアルバイトをやつておいた方がよいと思います。できるといふ既成事実ができますから。

司会 この座談会が後に続く人たちのために参考になつたと思います。きょうは、ほんとうにありがとうございました。

(座談会「区役所に就職して」編集スタッフ／企画・進行「泉山知威、記録」木村妙子、写真「森義昭、まとめ」加藤茂／なお、この座談会を読んだ感想を事務局までお寄せ下さい)

たえこの

ひとりごと

(4)

常任幹事 木村 妙子

いよいよ今年度最後の機関誌となった。私たちのハガキ運動や厚生者陳情の成果とは言い切れないがうやむやや国会解散のおかげで、健康保険本人二割負担を含む医療保険法改正案は成立しませんでした。だが、選挙が終れば次の国会で再上程されることだろう。また、私たち自身を守るために、みなさんといっしょにまとまってがんばらなければならない日々が続くことと思われる。しんどいことですがお互い、死なない程度に力を尽しましょう。

今まで、何回も筆にしようかと思っ、やめていたことをやっど皆様に読んでいただいてみようかという気になった。

それは、医療従事者と透析患者のことである。医療スタッフが患者にとつて重大な問題であることはなにも透析患者だけに限らず、遠藤周作氏が「心あたたま

る病院」運動（週刊読売）などで提唱されているのを見てもわかるとおりである。

普通の病人でも重大な要素である上に透析者には特殊な条件が加わさつてくる。一般の患者は露骨な言い方かもしれないが一応治るか、死ぬか、（まあ、現在は慢性疾患が多くなつているので、完全治癒ということは少ないかもしれない）ある時期がくれば、病院と縁が切れる。

しかし、透析患者はそうはいかない。（透析が特別に大変だという考え方は私はあまりとりたくない。不幸な人が不幸の程度の大きさを自慢するような姿勢は何物も生み出さないとと思う）ただ、客観的に考えて、透析患者は一生、病院と縁が切れないという意味で、その従事者は、大きな問題となつて迫つてくるということと言いたいだけである。

出典は明らかでないらしいが、前回、読む予定とお知らせした二冊の本、ともに（砂原茂一著『病院・医師・患者』、日野原重明著『死をどう生きたか』）引用していた言葉がある。

時に場し
しばしば支え

常に慰む

医療が治せる病気などはごく僅かなもので、従事者がせめてできることは病める人の心を支えること。それも、人の心を支えるなどということはいつもできるものではなく、しばしばに過ぎない。

ただ、従事者が行えるのは病み苦しむ人の心をなんとか慰められるに過ぎない。ということ短い言葉の中によく表わしていると思う。

もっとも透析患者は一生病院と縁が切れないということマイナスの特殊条件とすると、縁が切れないながら、半社会人として行動できるというプラスの特殊条件を持っている。

そのことから考えると、先の言葉は少し甘やかしになるかもしれない。しかし大なり小なりの苦しみを抱えて、透析を受けながら、社会復帰を果し、生きている私たちもまた、ある意味での病者であることは否定できない。

従事者は自分の存在が病者に対して、いかに重い存在であるかを時として忘れる場合があるかもしれない。十年一日のように透析をやっていれば、マンネリ化

もしてくる。

何よりも、大事なことは、自分自身の人間性を高めることが、よい従事者としてへの道だろうと思う。こういうことを言うとは何を患者が生意気なと思う従事者の方が必ずいらっしやることだろう。

しかし、これも、書物からの引用だが医療者と患者との関係は重病の時は親と幼児、次が親と中学生くらい、そして、慢性疾患となって自己管理が必要となった段階では社会人対社会人ということであった。これも透析者は元気な時は社会人然としていながら、ひとたび、病状が悪化すれば幼児に戻ることもありうるので、甚だ扱いにくいことと思うが、社会人としての立場も考えてひとつ、一回、考えていただくわけにはまいりませんでしょうか。

さて、末筆になったが、この欄を通じて城間美美子さんの御著書『愛の透析』を読む機会を得られ私は今まで、殆ど今まで、このような体験記は、ジメジメしているのが嫌いで読んだことのなかった私が、一息に読み通し、感銘を受けたことを記しておきます。

腎臓病医療相談会を開く

患者・家族ら30人が受診

十一月十三日、港区の東京都障害者福祉会館において第八回腎臓病医療相談会（東難連主催）が開かれました。

今回は電話で予約して会場にこられた患者・家族の方は三十人（男十一人女十九人）でした。内容は腎良性腫瘍一人、糖尿病性腎症一人、腎結石一人、紫斑性腎炎一人、のう包腎四人、ネフローゼ五人、腎盂炎一人、SLEループ腎炎二人、腎不全四人、遊走腎一人、血尿一人、慢性糸球体腎炎二人、慢性腎炎四人、甲状腺機能低下症一人、腎機能低下一人でした。この日相談を受けてくれました先生方は、順天堂大学内科助教授・小出権先生、同講師・角原孝先生、同講師・吉田政彦先生、同講師・樺沢進先生、東京都医療社会事業協会（MSW）の相談員五名が担当し、東腎協からは役員十名が参加しました。

毎年のことですが、前記の疾病のように色々な方が相談にこられ、先生方の熱

心な指導を受け、治療方針を決め、病院も紹介され、ほとんどの方が喜んで帰られました。中には、東腎協役員の経験談を聞いたり、同じ疾病の相談者を求め相談者同志交流を深め勇気づけ合う方もいました。しかし一方では、最後には人工透析に入るのでは、と不安をもっている人もおりました。

私はいつものことですが、相談者の方から質問を受けると次のようにいいます。「全部の患者さんが人工透析に入るとは限りません」、「まず自己管理を徹底して人工透析に入るのをばしたほうがよいです。もし透析に入っても、ここにいる役員の皆さんは透析をやりながら社会復帰をしていますから大丈夫です」。すると相談者の方は納得し勇気づけられました。将来は「今は腎臓移植も簡単になりましたから、是非腎臓移植をして早く社会復帰した方が良いですね」といえるようになってほしいものです。（一ノ清・記）

仲間がよだよし

58腎バンクキャンペーン

今後も一緒に頑張ろう

代々木病院職員 江崎秀雄

当腎友会の久保谷さんから、宣伝行動に参加してほしいとの話があり、透析室で勤務している職員として腎バンク登録の必要性を感じていましたので参加させていただきます。



腎友会の役員はじめ、参加された患者さんの熱心な姿や通行人の積極的な協力の姿をみて、本当に参加してよかったと思っています。

参加された患者さん、本当にごくろうさまでした。今後も一緒に頑張ります。来年はもっと多くの職員も参加してもらおうと思います。

58腎バンクキャンペーン

意識低い日本人

板友会 室川義信

私も透析に入り三年になりますが、私は年齢的にも腎バンクの利用は無理かなと考えております一人です。が、これからの社会を担ってゆく多勢の若い諸君は一人でも多く腎移植して社会復帰してほしいと願っています。

私共の板友会も出来たのも新しいのですが、昨年度はまだ入っておらず、今年実際自分が参加してまず感じたことは、一般に病気の身という人間に対して「気の毒だなあ」という心のあわれみや同情はありませんが、現実として健康な人はどこまでわかってくるであろうか？

という大変難しいと思います。

それと同じように街行く人々の中には、それは健康な人ばかり一〇〇％とは限らないにしても、こうした一つのビラを配っても、ほんとうにそれを理解してくれる人は、はたして何%いるか？ さりとてやらなくてはならない。

外国に比べ日本はそうした意識が低いことは現実ですが、これも人間(日本人)の国民性というもののなのでしょうか？

誰しもが決して一生健康である保証はないわけと思うが、これも人間の悲哀かもしれないが、それぞれ家族なり何か身内の者、そして本人が病気になる、初めてその立場がわかるというのが現実ではなからうか。

こうした街頭キャンペーンも決して無駄なことではなく何かをやらねばわかってもらえない、とすれば、例えば今度のキャンペーンのビラの内容にプラス、もっともし貴男(女)も明日でも病気になるたらどうしますか。また、腎臓に苦しむ実態を切々と訴えるようなものがほしいと思います。一般の健康な人が透析って何だいという、その仕組みさえ良く理

解されていない現実として、我々の苦しみ
をまたいかにしてそうした腎バンクの必
要性があるのか、もっと違った意味にお
いてこれからは考える必要があると思
います。

腎移植提供者の親として

清瀬小児病院腎臓父母の会

横田清子

初めてのキャンペーンに参加して、透
析しながら頑張っている皆様は敬服
致しました。今回は、当大武会長から移
植児の元気な姿をアピールすること
でお話がありましたので、私達腎提供者
も同行した次第でしたが、何かつかみど
ころのない感じで、折角子供達の参加も
無意味に感じ非常に残念でした。

移植をしていただいた我が息子も今元
気になり「ぼく透析を離れて八カ月だね」
と毎日明るい笑いをまいてくれます。比
較的短い（三時間）透析でしたが、何
度も拒否したことでしょう。その都度、早く
移植をと考えてまいりました。幾度も壁
にぶつかり、それを乗り越えて元気に活

動しています。そのところをもう少し強
調していただきたかった。あのあと、子
供達も反省会をし、次回に向けての意見
を出し合ったとのこと、頼もしいではあ
りませんか。

片方で交通キャンペーンをしている中
での配布は、通行の人々には人目も入ら
なかったでしょうね。やはり、有名人
の方々の協力がなければ、今回みたいに
早い時間帯で配布できなかったかと思
うと心ざみしい気持です。

ほん

愛の透析（城間美美子著）

ある日突然、夫が腎臓病になり透析導入。苦しみ
悩む夫をあたたく見守り、無事社会復帰を果たす
姿が感動的に描かれています。

創林社 1,000円

慢性腎不全の正しい知識（丸茂文昭著）

腎臓病の医療相談会、総会の講演などに協力いた
だいた丸茂先生が出された本で、慢性腎不全のこ
とがよくわかるようにイラストもふんだんに使用され
ています。

南江堂 980円

絵でみる自己管理と食事療法

慢性腎不全の 正しい知識

北里大学内科助教授 丸茂 文昭 著

B5変形判・78頁 定価 980円〒250

慢性腎不全により透析を受けながら社会復帰
をされている方々は年々増えています。しかし
透析療法だけではよい結果は得られません。
もっと重要なことは患者さんが病気を正しく
理解し、日常生活の方法をみつけたことです。
その手助になるよう書かれています。

〒113 東京都文京区本郷3-42-6
東区2-149 電話(03)811-7234(代表)

南江堂

とにかく東腎協の方々と同じに
頑張って前進してゆけることは明るい希
望です。われわれも腎センター及び高校
の設立をして頂きたく陳情しております
が、いまだに何の回答もないままにな
っております。やはり街頭キャンペーンに
立つなり、何らかの方法を取らない限り
要求が通らないのでしょうか。
私自身、都外者なので弱い立場で活動
致しており、良きアドバイスをまた共に
活動して下さるようお願い申し上げます。

苦しみをのりこえて

フェニックス会 中安恵子

人はそれぞれ

かなしみをもっている

辛くても 負けたくない

そんな私になって

皆をあげまして

明るいい人になり

苦しみをのりこえていきたい!!

明日は きっといい事がある

それを信じていきたい……!!

短歌 十首

東海病院 桃木幸男

脈をとる老いたる医師のまなざしに

今日は優しき影はしる見ぬ

吾が命絶ゆる時まで透析を

受ける運命に流されゆかん

病める身の窓辺に立てばわが家遠し

霧雨に煙る灯窓おしむ

きびしさを白衣の中に包めるも

ふと見せる笑顔ナースは二十

一日の五分の一をば透析に

費やすこの身の今日もはや暮れる

透析と言う言葉をたのみまどわされ

過ぎし三年命をかけて

枕元グラスの水眺めつつ心冷たき

はや透析は今日もはじまりぬ

白き手で脈とる看護婦母に似て

伏せし目頭なぜか淋しき

水飲めばふえゆく体重透析に

ゆだねし心過ぎし三年

水雨打つ屋根の瓦にこぼれ落つ

小さき水滴躍るが如き

ゴルフ会員募集

のお知らせ

柴山金治

昔の透析は、大変でスポーツなんてとても無理だったとのこと。医学の進歩に

透析患者の生活



感謝し、(マトリット)二五%に物をいわせゴルフを始めました。

只今、人数、実力ともに少々。もっと仲間を増やしたく、東腎協の会報に出させてもらうことにしました。

年齢・性別・学歴不問、初心者大歓迎!

実力は別として、自称青木や倉本、またチャコも揃っていますから、すぐ上手になれると思います。

我々は、もう始めて大分たちますが、真夏、真冬、雨、風、混んでる日は避け

小春日和を選んで行ってますから、まだ三回しか行ってませんが金額の安いアイアンコースは何回も行っていきます。そこには貸クラブ、貸靴あり、何もなくてもできます。

上手な人は少々物足りないと思います
が「透析ライフ」の中でも「体調に合せて運動を」と運動の必要性をいわれていました。ゴルフは、その点運動量からも透析をやっている我々には適当なスポーツのようです。

是非とも多くの人の参加を待っています。

△連絡先▽

柴山金治

三橋義明

遠藤良男

田口秀夫

患者同士で結婚

しのばず会の会員

上野病院しのばず会会員の柳沢佳寛さん（郵便局員）と星野幸子さん（スポーツ店アルバイト）は、十月二日、池之端文化センターで結婚式をあげました。

柳沢さんと星野さんは三年越しの交際期間を経てゴールインしたもので、他の若い患者の励ましにもなっています。

向上心を常に秘め 理容学校を卒業

しのばず会 福元美保子



理容の道に入ってから五年目に入ろうとしている。透析者であり、難聴者でもあるというハンディにかかわらず仕事を持たたということ。そうして、専門技術を身につけられるということは大変恵まれていると自分でもよく思う。

去年、無事に理容学校を卒業できた。理解して見守って下さった方々に心からお礼を言いたい。

しかし、仕事上ふつこうなことはやっぱりあって、たとえば腕の針の傷。私は

現在カット包帯をして仕事をしているが（職場で着る白衣は半そでの為）、前は気にせず平気でむき出しにして仕事をしていた。

ところが、ある日、店のお客さんが私の腕をつくづく見て、

「そのキズは何なのかね。麻薬やってんじゃないの」

と言われてしまい、大変ショックを受け、それ以来、傷は一種のひけ目となって、少々苦しんだ。今では割り切ることもできるし、もし、また「その腕はどうしたのか」と聞かれたら、にこやかに「傷跡があるので包帯しているのです」と言える自信もある。

もうひとつは時間である。透析時間が三時間くらいに短縮できればなーと病院にいくたびにいつも思う。

不満を言えばきりがないが、いろいろな点で私はとても恵まれている。つきなみな言葉ではあるが、現状に甘んじず、常に向上心は忘れたくない。頑張ろうと思っている。

会員交流会に参加して

吉祥寺クリニック 篠 喜代子

初めて東腎協会員交流会に出席させて
いただき、有意義なお話を伺うことがで
きたいへんうれしく思っております。

交流会で、社会復帰された患者さんの
お話で社会の中で生きるといへんさを聞
き、涙の出る思いでした。自分だけでな
く、皆さん生きることの大切さを胸いっ
ぱいになる思いで聞いておりました。

私自身は、八年間たいしたアクシデン
トもなく、透析中も食事以外はほとんど
寝ております（血圧の変動もなく）。こ
れも今までに良き先輩に恵まれ、現在も
良き友達にめぐまれ、色々の情報交換を
しあい、お互いに励まし合っているた
まののかも知れません。

現在のように医療費がますます削減さ
れ、健保の改善がされますと果して週三
回の透析が続けられるのか毎日不安を抱
えております。

患者自身ももう少し国のお金で生きて
いられることのありがたさを再認識し、
努力をしなければと感じております。た

だからから圧さえ掛ければいくらでも水は
引ける、そんな考えで透析をすることは
無駄なことですし、自分の心臓がどれだ
け大変な思いをしているか一度考えてみ
てはどうでしょうか。

一生続ける透析を一回一回いかに楽に
過ごすか、患者がしなければならぬ義
務だと私は思います。

これからも、是非このような機会を持
つていただき、他の病院、クリニックの
様子をお聞かせいただきたいと思いま
す。そして、私は努力をしている患者さん
とお友達になっていただき、自分も勉強さ
せていただきたいと期待しております。

会員交流会に参加して

西池袋黎明会 青木利達

初めての多摩地区での開催と当日の雨
で出席者が少なかつたのはちょびり残
念でしたが、その中を集まって来られた
会員の方々にまず敬意を表します。

私も含めてですが、まだまだ健保改善
の現実を自分のこととしてとらえていな
いような気がしてなりません。このよう
な交流会に出席すると、危機感を感じ、

透析を受けながら他人のために働いて
いる方達の苦勞を思わないではいられませ
ん。

それぞれの人が皆、試練に耐えている
せいか発言される言葉に重みがあり、私
などの生き方の甘い人間には一つひとつ
核心をつかれる思いで過ごしました。

お茶を入れてくださった方が、熱いお
茶を少しついでくださったことも心に響
きました。こういう思いやりが皆持てれ
ば良いなと思います。

生きるということは尊いことです。私
達は私達なりのしあわせを見つけていく
ように努力しなければいけないと思いま
す。

宝生会長が座り込み（10月24日、厚生
省文閲前）の無理がたたって入院したと
いうことを聞き、感謝と同時に早く回復
されるよう祈っております。

今回の交流会には、もっとたくさんの人
達と会って本音で話したいと思いま
す。話すことによつて気持が楽になるという
ことが私達にはたくさんあるように思
いますので。最後に、高橋副会長をはじ
め役員の皆様方に御礼を申し上げます。

会員交流会に参加して

西池袋黎明会 野中 潔

当日は、雨模様で肌寒い日の上、会場が都下の武蔵小金井ということもあったためか出席者は二十数名と少なく、初めは低調な交流会になるのではないかと心配致しました。

しかし、会が始まるとどなたも積極的に発言され、司会者が途中で議論を打ち切る程で、大変有意義な会になったと思います。

現在、健康保険制度改悪の動きが一段と具体性を帯びてきておりますが、一般に報道されている事柄の裏で実際にはどのような事実が進行しているのか大変気になります。それに対して、東腎協はどのような対策を取ろうとしているのか。さらに私達会員はどのような活動をしていかなければならないのかという点について認識を深めたいと思ひ、交流会に出席致しました。

出席者一人ひとりから問題が提起されましたが、やはり健康保険制度の問題や災害時の対策について質問が集中し、こ

れらの問題への関心の深さが感じられました。役員の方々の説明や討論を通じて健康保険制度の改悪が現実的な問題となっていること。災害時の対策については根本的な決め手がないながらも、個々の透析施設で対処できることについてはできるだけ早急に手を打っておく方がよいことなど痛感致しました。

私達の患者会では、これらの問題を話題にすることはほとんどありません。多くの患者は何とかなるのではないかと樂觀しているか、あるいはこれら問題の存在すら知らないのではないかと思われまふ。しかし、私達がいくら目をつぶって知らん顔をしていても、社会はその私達の全てを巻き込んで動いていくわけですから。知らなかったといつて見逃してはくれません。私は東腎協の会合に出席するたびにこのようなことを強く感じます。

△提案▽

今回の署名運動の過程で、会社の先輩の一人と透析患者の実情や腎移植の問題について話をする機会がありました。その中で、その方からドナーが少ないとい

う問題について患者団体から各種団体へ透析患者の実態と腎移植について説明を行い、腎バンクへの登録を要請してはどうかという提案が出されました。

私は電々公社に勤務しておりますが、例えばその組合である全電通は約二十万人の組合員を擁しており、その家族まで含めればかなりの人数が組織されております。その全電通は、献血を定期的に行うなどの社会福祉活動にも組織して積極的に取り組んでおります。

昨年の全電通の新聞の新年号には、関東通信病院の透析室で働く組合員が紹介されておりました。その他にもロータリークラブなど社会福祉をその活動の一部にしている団体は多数あると思います。それらの団体の上層部に東腎協あるいは全腎協などから、腎移植の社会的な側面も含めて説明を行い、腎バンクへの登録協力を呼びかければ、それらの団体の組織力を生かして腎バンクの充実をはかるのではないかと思います。

街頭での呼びかけ、マスコミを通じての呼びかけの他にこのような方法も試みてはいかがでしょうか。

事務局からのお知らせ

常任幹事会報告

◎第56回（10月16日、全腎協事務所、出席19人）

- 一、街頭キャンペーンの総括
- 二、会員交流会、医療相談会について
- 三、都議会陳情（健保法改悪反対）への取り組み

四、全腎協、患者団体連絡会の厚生省交渉、盛り込み、全患連大会について

五、全腎協、連絡会の国会請願署名募集金について

◎第57回（12月18日、全腎協事務所、出席17人）

一、東腎協総会。記念講演「透析医療の現状と将来」、講師は順天堂の先生にお願いする。

二、患者家族団体連絡会のクリスマス集会（12・24）について

寄付 会員の遺族の方から次のような寄付をいただきました。

- 三軒茶屋病院・京馬町子様 10万円
- 東高円寺クリニック・岩切万千様 20万円

昭和五十一年二月二十五日第三種郵便物認可
SSKO通巻第九〇九号
昭和五十一年一月十六日発行

よろしく

お願いいたします

伊藤チヨ子、赤池四良、杉山由紀子、嶋龍郎、森山敏意、野辺幸子、松本あき子、前田啓子、三ヶ木美智子、野口勇、松浦秀一、沢田浩、安田任子、西川妙子、馬場みち子、谷古字政忠

高松病院成増腎友会（会員数12人）

〒175 板橋区成増3の6の15

高松病院附属診療所内

東神田クリニック腎友会（会員数36人）

〒101 千代田区神田須田町2の19

ライダーズビル

東神田クリニック内

成人式を迎える透析患者を

東京レポートで紹介

1月14日（土）、放送された東京レポート（テレビ東京、午前9・00〜15）で成人式を迎える透析患者の乙部智子さん（調布病院）が紹介されました。専門学校に通学し、元気に頑張る乙部さんの姿と共に森事務局長も出演し、東腎協の運動について紹介しました。

全腎協の国会請願が

2月2日に行われま

全腎協の国会請願が2月2日（木）に予定されています。医療と福祉をめぐる状況は一段ときびしくなっていますので、多くの人の参加をお願いします。

訂正とお詫び

前号（48号）の学習交流会「医療の福祉をめぐる最近の動向」の中で「身体障害者福祉法は、昭和二十六年（一九五一年）に作られた」（4頁）となっていますが、昭和二十四年（一九四九年）の誤りでした。訂正し、お詫びします。

計報

東腎協常任幹事として活躍してこられた池井弘さん（虎の門病院、10月4日）、和田雄二さん（大和病院、12月29日）が死去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

八編 集後記

本誌も50号目前になりました。さらに奮闘したいと思えます。（加藤）

発行所

身体障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧八二二―三

頒価百円